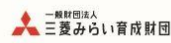


## PDA 神奈川県高等学校即興型英語ディベート交流大会2024

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2024年11月2日(土) 11:30-16:00

会場：神奈川県立横浜平沼高等学校



参加校：18校（横浜平沼、横浜国際、横浜翠嵐、光陵、大和、川和、柏陽、多摩、横須賀、鎌倉、横浜緑ヶ丘、湘南、小田原、茅ヶ崎北陵、相模原、厚木、希望ヶ丘、平塚江南）

参加者：生徒120名、教員50名

スタッフ：PDAスタッフ、東京大学

主催：神奈川県教育委員会、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

主管：学力向上進学重点校エントリー校連絡協議会 グローバル教育研究ワーキンググループ

はじめに、会場校である横浜平沼高等学校の学校長であり、学力向上進学重点校エントリー校・グローバル教育研究ワーキンググループの小島校長先生より、「現代のグローバル化された世界において、批判的に考える力などは非常に重要です。お互いにリスペクトを持ってディベートに臨んでください。」と英語でご挨拶いただきました。次に、神奈川県教育委員会高校教育課国際・情報教育グループの西澤指導主事より、「交流『大会』ということで、強いアーギュメントを考えることも大切ですが、トピックをよく読み、相手チームの意見をよく聞き、ジャッジにもリスペクトを持つことが重要です。頑張ってください。」と英語でエールが送られました。そして、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA) 代表理事の中川智皓より、「将来、皆さんが仕事をされる際にも『限られた時間の中で』英語で伝える機会があると思います。グローバルに活躍する上で重要なスキルを培う機会にしてください。」と激励のメッセージが送られました。

その後、PDAスタッフより、参加校の紹介が行われ、学校名が呼ばれた高校の生徒は、元気に校訓を叫んだり、意気込みを述べたりしました。そして、トロフィー返還式、ルールの確認、POI (Point of Information) の練習を行い、ディベートの実践に移りました。トロフィー返還式では、昨年の上位3校（1位横浜国際高校、2位湘南高校、3位横浜翠嵐高校）がそのトロフィーを返還しました。



小島校長先生のご挨拶



トロフィー返還式

第 1 ラウンドのお題は “*Kanagawa Prefectural High Schools should abolish their school uniforms. (神奈川県立高等学校は、制服を廃止すべきだ。)*” でした。肯定側は、制服がいかにお金がかかるかについて、自身の制服の具体例を述べたり、身長が伸びると買い替えないといけないといった分析を述べたりしながら説明しました。また、自分で何を着るか考えることの重要性を述べるチームもありました。否定側は、制服を着ることで結束力が強くなるといった論点や、学業に集中できるなどの論点を提示し、こちらも自身の学校の例を述べながらスピーチする場面が見られました。POI を通した質疑応答も行われ、白熱したディベートとなりました。

ディベートが終わると、対戦校と論点の確認をしたり、ディベートや英語の学習方法について話したり、交流を深めました。そして、ジャッジを務めている教員が勝敗のほか、一人ひとりに次に向けたアドバイスを伝え、2 ラウンド目に生かそうとメモをとる生徒の様子も見られました。



準備時間の様子（川和高校）



準備時間の様子（多摩高校）



準備時間の様子（光陵高校）



多摩高校 VS 湘南高校



小田原高校 VS 鎌倉高校



相模原高校 VS 平塚江南高校



光陵高校・横浜平沼高校



柏陽高校・横浜国際高校



ジャッジ（厚木 VS 川和）

続く第 2 ラウンドのお題は、 “*The voting age should be lowered to 16. (選挙権年齢を 16 歳に引き下げるべきだ。)*” でした。2016 年の選挙から選挙権年齢が 18 歳に引き下げられましたが、それでも度々社会課題として取り上げられる「若者の政治への無関心」や「シルバー民主主義」。それらの課題解決のために選挙権年齢を 16 歳に引き下げられることが有効かどうかについて議論しました。否定側としてディベートするチームの中には、16 歳のときの自分がどんなことを考えながら生活していたのかを描写しながら「まだ選挙をするには早い」ことを強調するチームもありました。また、否定側が「自分でお金を稼いだこともないのに投票するのはおかしい」と主張すると、肯定側から「18 歳で投票する人の中にも働いた経験のない人は多く、就労経験は重要ではない」と切り返すなど、説得的な議論が展開されました。



横須賀高校 VS 横浜翠嵐高校



川和高校 VS 横浜平沼高校



POI！（柏陽 VS 相模原）



握手（横浜緑ヶ丘・光陵）



希望ヶ丘高校・湘南高校



交流も楽しめます



教員ジャッジによる勝敗の発表と個人フィードバックの様子

続く第3ラウンドのお題は、“**University admissions based on exam scores should be reduced, while those through designated school recommendations should increase.**（大学入試の点数による合格者を減らし、指定校推薦による入学者を増やすべきだ。）”でした。一般入試と推薦入試のどちらの方が公正か、大学入学後に必要な素質を適切に評価できるかなどについて議論しました。交流時間には進路について話す場面も見られました。



平塚江南高校 VS 大和高校



横浜翠嵐高校 VS 小田原高校



交流（茅ヶ崎北陵・相模原）



交流（希望ヶ丘・川和）



教員によるジャッジコメント

次のプログラムであるエキシビションディベートの前に、本大会の運営をしているスタッフ（東京大学）によるレクチャーと第3ラウンドのPMスピーチが行われました。PMスピーチ中はフロアからのPOIを受け付け、果敢にPOIで質問する生徒もいました。その後のディベートの展開や反論の仕方についてもレクチャーが行われ、生徒たちは真剣に聞き入っていました。



PMスピーチの様子

そしてジャッジが高く評価した生徒6名によるエキシビションディベートが始まりました。論題は“**We should ban the use of smartphones in schools. (学校でのスマートフォンの使用を禁止すべきだ。)**”でした。友人の例を説明して会場を笑顔で包んだり、「自分が教員であることを想像してください。」と想像を掻き立てる表現に教員が笑みをこぼしたり、エキシビションディベートにふさわしい、聴衆を引き込むスピーチとなりました。どちらの意見も説得的でしたが、会場の挙手投票とジャッジを務めた9名の教員の投票により、否定側の勝ちとなりました。



エキシビションディベートの様子



エキシビションディベートのジャッジ

閉会式では、表彰式のあと、学力向上進学重点校エントリー校・グローバル教育研究ワーキンググループ・横浜国際高等学校の小河校長先生よりご講評いただきました。小河校長先生から「今日はこれまで考えたことのなかったトピックについて考えたこともあったでしょう。また、相手チームから学んだこともあったはずです。それらを明日からの英語学習に生かしてください。」と英語でご講評をいただきました。そして、PDAディベート推進委員長の大賀より「先生からいただいたコメントをしっかりと咀嚼し、学びを深めてください。」とエールが送られ、交流大会が終了しました。



小河校長先生によるご講評

## 【表彰】

### 〈エキシビションディベータ賞〉

- ・ PM 鎌倉高校 \_\_\_\_\_さん
- ・ LO 相模原高校 \_\_\_\_\_さん
- ・ MG 横須賀高校 \_\_\_\_\_さん
- ・ MO 横浜緑ヶ丘高校 \_\_\_\_\_さん
- ・ LOR 湘南高校 \_\_\_\_\_さん
- ・ PMR 小田原高校 \_\_\_\_\_さん



エキシビションディベータ賞

### 〈チーム賞〉

- 1位 相模原高校
- 2位 横浜緑ヶ丘高校
- 3位 湘南高校
- 4位 茅ヶ崎北陵高校
- 5位 平塚江南高校



1位 相模原高校



2位 横浜緑ヶ丘高校



3位 湘南高校



4位 茅ヶ崎北陵高校



5位 平塚江南高校

〈ベストディベーター賞〉 ※2回ベストディベーターに選出された生徒

- ・ \_\_\_\_\_さん (相模原)
- ・ \_\_\_\_\_さん (横浜緑ヶ丘)
- ・ \_\_\_\_\_さん (柏陽)
- ・ \_\_\_\_\_さん (鎌倉)
- ・ \_\_\_\_\_さん (湘南)
- ・ \_\_\_\_\_さん (湘南)
- ・ \_\_\_\_\_さん (茅ヶ崎北陵)
- ・ \_\_\_\_\_さん (横須賀)

〈POI賞〉 ※2回ベストPOIに選出された生徒

- ・ \_\_\_\_\_さん (相模原)
- ・ \_\_\_\_\_さん (柏陽)
- ・ \_\_\_\_\_さん (大和)
- ・ \_\_\_\_\_さん (希望ヶ丘)
- ・ \_\_\_\_\_さん (多摩)
- ・ \_\_\_\_\_さん (横須賀)

記念撮影の様子



湘南高校



相模原高校



横浜翠嵐高校

## 参加者の声（アンケートより抜粋）

### ◎生徒の感想

- ・緊張したけど POI や反論などを出来て楽しかった。（大和高校）
- ・色々な人と出会えた。今まで考えてこなかったような視点も自分で見えた。（大和高校）
- ・成長を感じれた。普段と違う人とディベートしたりするのが楽しかった。（大和高校）
- ・楽しかった。（柏陽高校）
- ・もうちょい試合やりたかった。（柏陽高校）
- ・たくさんの方が学べて楽しかったし、モチベーションも上がりました。（柏陽高校）
- ・他校の人と触れ合ったり、ディベートのスキルの成長を感じることができた。（川和高校）
- ・自分たちが予測できないような質問や反論があってもものすごく面白かった。（川和高校）
- ・色々な人の色々な意見が聞けて面白かった。来年も参加してみたいと思った。（川和高校）
- ・英語で、1つの議題について話すのは勿論、それを他の高校の人たちとやる場であったことが最高だった。（川和高校）
- ・他校の人と交流ができて楽しかったです！（横須賀高校）
- ・ひとラウンドごとにたくさんのカロリーを消費するので疲労感がすごかったが、達成感も同じくらいだった。（横須賀高校）
- ・実際に会ってできたのがよかったです。（多摩高校）
- ・課題点が多く見つけられ来年に向けて改善できたらなと思う。（希望ヶ丘高校）
- ・ほかの学校の人との交流も楽しかったし、自分とは異なる意見を聞けて新鮮だった。（希望ヶ丘高校）
- ・いろんな高校とかかわることが出来たし、ディベートについてよく知ることが出来て、いい経験になった。（希望ヶ丘高校）
- ・他校の生徒との交流ができたし、ディベートに置いてどのように論じていけばいいのか相手から学ぶことがたくさんあった。特に他校の方は具体例の出し方がとてもわかりやすかったです。（希望ヶ丘高校）
- ・色々な視点でのアドバイスを頂いてたくさんの学びがありました。ディベートがより好きになりました！（横浜緑ヶ丘高校）
- ・しっかりとした形でディベートができた。（湘南高校）
- ・自分の知らなかったところのジャッジの人に教えて貰えて良かったです。（横浜国際高校）
- ・新しい人と出会って新しい価値観を得られました。とても楽しくてこれからも頑張ろうと思えました。（厚木高校）
- ・たくさんの方たちと交流できたことがとても楽しかったです。（厚木高校）
- ・ジャッジの先生方に的確なアドバイスをいただいて今後の英語ディベートへの大きなモチベーションになりました。本当にありがとうございました。（厚木高校）
- ・楽しかったです。（横浜平沼高校）

- ・自分たちの実力を客観視してもらい、また様々な人とお会いできたので、とても良い機会になりました。(横浜平沼高校)
- ・様々な高校との交流ができて、楽しかったです。また、新たな発見があり有益な時間を過ごせました。(相模原高校)
- ・ジャッジによる講評などをこれからのディベートや英語技能に活かしていきたいです。(茅ヶ崎北陵高校)
- ・様々なアドバイスやポイントを教えて頂けてとても勉強になりました。また、色々な視点から議論を深めることができているいい経験になりました。(茅ヶ崎北陵高校)
- ・他の高校の方々のスピーチを聞いていて、やはり構成がしっかりとしていると感じた。普段の練習量が垣間見える、土台のしっかりとした英語力とディベート構成力を見ることができてとても楽しかった。(多摩高校)
- ・他校との交流ができたこと、特に他校のレベル、他校とやりあうときの本番とはまた違う緊張感、ジャッジの判定(ジャッジを普通の練習においてあまりしていないことから今回は貴重なチャンスになった)について現場で色々知ったことを持ち帰ることができて、非常にいいと感じた。(横浜翠嵐高校)
- ・悔しい結果に終わってしまいましたが、相手チームの方々とエキシビジョンマッチを見て、たくさんの事を学ぶことができました。(横浜翠嵐高校)
- ・とっても悔しかったです。エキシビジョンで前に出たみなさんは、流暢さも確かにありますがそれよりもなんとやっているのかとても分かりやすかったです。ジャッジが満場一致で判断できたのは、それぞれの主張と理由がはっきりしていた証拠だと思います。ベストディベーターを1回いただいたのですが、前の試合の内容が分からなかったという意見を参考に、主張と理由をきちんと話せたことが結果に繋がったのかと感じました。最後に、チームメイトがいたから勝てるんだ、とあってその通りだと実感しています。3人あるいは4人を合わせて根拠のある、筋道のあるディベートはやはり強いと、美しいと思いました。ディベートの話のみならず、対戦校の普段の様子や行事について話が盛り上がりました。これらの経験を必ず糧にして、次はもっといいディベートを作っていきたいです。(横浜翠嵐高校)
- ・今回は基礎的な話し方、特に理由・具体例・結果を意識して取り組み、大会という場で落ち着いて話すことができ、精神的な面でも良い経験をしたと思います。(横浜翠嵐高校)
- ・去年よりもディベートが上達していることを実感できました。とても良い経験になりました。(平塚江南高校)

## ◎教員の感想

- ・素晴らしいディベートを堪能しました。(教員)
- ・益々、ディベートが広がり、生徒の学力、コミュニケーション力が伸びたらと思います。(教員)
- ・このような貴重な機会を提供してくださりありがとうございました。生徒達にとっても、沢山の先生方からフィードバックをいただけて、とても勉強になったと思います。(教員)
- ・とても有意義な会で、生徒たちがみな笑顔だったのが印象的でした。(教員)
- ・レベルの高いディベートをたくさん見る事ができた。内容の充実したディベートをジャッジすることができた。生徒が大変楽しそうにディベートに参加したり見学したりする様



子をたくさん見ることができた。レクチャーも大変有意義でした。(教員)

- ・今日はどうもありがとうございました。ジャッジとして経験でき、自分の可能性が広がりました。教員にとっても良い経験となりました。(教員)
- ・大会ならではの雰囲気、生徒も緊張感がありつつモチベーション高く各ラウンドに臨んでいる様子を見ることができよかったです。(教員)

### ◎生徒からジャッジの先生へのコメント

- ・とても分かりやすくて為になりました。
- ・ジャッジしていただきありがとうございました。
- ・アドバイスがすごいためになりました！
- ・たくさんのアドバイスをくださりありがとうございました。
- ・いろいろな観点からの指摘をありがとうございました。
- ・講評が丁寧で嬉しかったです。ありがとうございました。
- ・的確なフィードバックをありがとうございました！1日ありがとうございました！
- ・一人一人に詳しく見てくれて自分の言いたいこととかが伝わってた時すごく嬉しかったです。
- ・貴重な機会をいただきありがとうございました。今後に活かせるように頑張りたいです。
- ・アドバイスや良かったところが的確でとても分かり易かったです！ありがとうございました！！
- ・本日はたくさんアドバイスを頂きありがとうございました。今日の経験をもとに練習に励みたいと思います！
- ・素直な感想をいってくださり、より自分達のディベートを客観視できたので、勉強になりました。今日は本当にありがとうございました！
- ・自分では気が付かない視点からのアドバイスをいただき、とても参考になりました。
- ・一人ひとりに適切なアドバイスや感想などを説明してもらえてとても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・頂いたアドバイスを今後に活かせるように頑張りたいと思います。
- ・本日はお忙しい中大会のジャッジをしていただき本当にありがとうございました。今後の英語ディベートにいただいたアドバイスを活かしていきたいです。
- ・講評のあとの質問に丁寧に、何がダメだったのか答えて下さり、とてもためになりました。また、意見自体は肯定、ディベートでそれがダメだった理由を答えて下さり、自分の課題が明確になりました。細かい所までちゃんと見て評価して下さるジャッジの先生方がいて、今回の理由のある悔しいに繋がったのでは無いかと思います。本日は誠にありがとうございました。